



# Weekly Report

## 東京立川ロータリークラブ

2017.1.20 第2731回 例会



▲落語家 立川寸志様を囲んで

### 【会長挨拶】 尾内昭夫会長

先週の賀詞交歓会でお会い出来なかった方には改めまして「明けましておめでとうございます」。新年が明けるといことは、また一つ年、年齢をとるという事です。今日は年齢についてお話し致します。既にニュースなどでご存知の方もおられるかと思いますが、「日本老年学会」というをご存知でしょうか。日本老年学会は日本老年医学会、老年看護学会、老年歯科学会、ケアマネジメント学会など7学会で構成されます。その日本老年学会・日本老年医学会が、高齢者に関する定義についてワーキンググループから提言を出しました。わが国を含む多くの国で、高齢者は暦年齢65歳以上と定義されています。しかしこの定義には医学的・生物学的に明確な根拠はありません。わが国においては近年、個人差はあるものの、この高齢者の定義が現状に合わない状況が生じています。高齢者特に前期高齢者の人々は、まだまだ若く活動的な人が多く、高齢者扱いをすることに対する躊躇、違和感は多くの人が感じるところです。様々なデータを検討した結果、現在の高齢者においては10～20年前と比較して加齢に伴う身体的機能変化の出現が5～10年遅延しており、「若返り」現象がみられています。従来、高齢者とされてきた65歳以上の人でも、特に65～74歳の前期高齢者においては、心身の健康が保たれており、活発な社会活動が可能な人が大多数を占めています。また各種の意識調査の結果によりますと、社会一般においても65歳以上を高齢者とするに否定的な意見が強くなっています。これらを踏まえワーキンググループとしては、65歳以上の人を次のように区分することを提言するそうです。65～74歳を准高齢者=pre-old、75～89歳を高齢者=old、90歳以上を超高齢者=super-old。この超高齢者をsuper-oldというのはいかなるものかと思いますが、せめてpremium-oldとかhappy-oldとか呼べないのでしょうか。この提言によりますと、今年65歳になる岡部さんや清水春春さんを「わ～い！高齢者」と呼ぼうと思いましたが、これからは准高齢者と呼ぶことにします。一方、既に高齢者であった三田村先生や大高先生、さらには榎戸さん、山口先生、豊泉さんなどは高齢者から准高齢者に格下げです。が、村野さんはどう計算しても高齢者のままです。そして我がクラブの誇り伊藤平八朗さんが超高齢者と定義されます。この提言の最後には『この提言が明るく生産的な健康長寿社会を構築するという国民の願いの実現に貢献できることを期待しております』とあります。東京立川RCの准高齢者、高齢者、超高齢者の皆様には、いつまでもお元気で、優しく、温かくクラブを見守って頂ければと思う次第であります。



尾内昭夫会長

### 【司会進行】

SAA委員会 志村和則委員

【開会点鐘】 尾内昭夫会長

【ロータリーソング斉唱】

『我らの生業』

【お客様紹介】

【会長挨拶】 尾内昭夫会長

【幹事報告】 織原寛一郎幹事

【委員会報告】

社会奉仕委員会 安藤永一副委員長

【各種お祝い】

親睦委員会 木村政人副委員長

【ニコニコ発表】

親睦委員会 矢澤貴光副委員長

【出席率の発表】

出席委員会 増田太一副委員長

1月20日(金)	会 員 数	107名
	出席義務会員	101名
	出席免除会員	6名
	当日出席者	89名
	出席免除会員の当日出席者	3名
	出席率	85.58%

【卓話】 落語家 立川寸志様

【閉会点鐘】 尾内昭夫会長

2016～2017年度 RIテーマ



2016～2017年度 国際ロータリー会長 ジョン・ジャーム

2016～2017年度 クラブテーマ

# 夢を語ろう!!

ROTARY SERVING HUMANITY  
東京立川ロータリークラブ  
会長 尾内昭夫



司会進行  
志村和則委員



各種お祝い  
木村政人副委員長



ニコニコ発表  
矢澤貴光副委員長



出席率の発表  
増田太一副委員長



例会時には必ずバッジをつけましょう

## 【お客様紹介】

落語家 立川寸志様(卓話講師)  
北久保隆一様(東京東村山RC)

野澤秀夫様(東京東村山RC)  
岩田敏雄様(東京小平RC)

## 【お客様挨拶】

東京東村山RC パスト会長 野澤秀夫様  
東京東村山RC 幹事 北久保隆一様

私も久しぶりに素晴らしい立川さんにお邪魔しまして懐かしい先輩の皆様にもお会いしまして感激しています。私共もお陰様で面倒を見て頂きまして早50年が経過しました。出発当初は人数もかなり



いましたが、今は半減し少なくなりましたが活動は粛々と行っています。この2月に式典を催す予定ですので、ご案内をさせていただきます。2月23日(木)パレスホテル立川で式典を開催させていただきます。1967年2月23日(木)、この日に設立されて50年、また木曜日にこの式典を開催出来る事を本当に光栄に思っています。立川RCさんの御支援が本当に大きかったと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。

## 【幹事報告】 織原寛一郎幹事

●本日ご来訪の東京東村山RC様からバナーを頂戴しました。●高橋洋介会員、米原亘会員が12月末日をもって退会されました。●RLI(ロータ



リーリーダーシップ研究会)パートⅢのご案内、ガバナー月信、財団ニュース、ハイライト米山、バギオ便りを配布。●13日(金)第7回理事会開催。●第2回会長幹事会、25日(水)開催。●26日(木)東京立川ライオンズクラブの新年例会開催。会長、幹事で出席。●22日まで、クラブのスキーツアーが開催されております。

## 【委員会報告】

社会奉仕委員会 安藤永一副委員長

来る2月3日(金)第2733回の例会案内になります。社会福祉法人日本介助犬協会様をお招きしますが、タイトルは「障害者の自立を支える介助犬」です。活動計画では、社会福祉・社会的弱者の方々に配慮した事業等を他団体との連携も含め、調査、研究、立案、実行のもと、会長の思いでもある「犬」をキーワードに調査してきた結果、人間の生活を手助けするサポート犬に着目しました。サポート犬といえば盲導犬や聴導犬が有名です。当委員会では手足の不自由な障害者の方を手助けする介助犬に



スポットをあてることにしましたが、まだ認知度が低く全国でも70数頭しかいません。今回お招きする社会福祉法人日本介助犬協会様は元総理 故橋本龍太郎氏夫人の橋本久美子さんが理事長を務め、全国の様々な地域で啓発活動を行っています。また巨人軍の菅野投手の菅野基金の第一弾の事業であり、秋篠宮様のご視察にお出でになっています。奉仕団体との連携は東京豊島ライオンズクラブ、RCは名古屋東山RCと事業を行っていて、第2750地区では初の試みとなります。当日は卓話と実際にこの会場で可愛い介助犬によるデモンストレーションを行います。これを機に是非介助犬に対するご理解を深めて頂ければと思います。また例会終了後に介助犬協会様への募金を受けたいと思います。そちらもご協力をお願いします。

## 【各種お祝い】

親睦委員会 木村政人副委員長

【入会記念月】 安達良文さん 尾内昭夫会長 木村真人さん  
藤堂 敦さん 中島孝昌さん 布施 明さん 古屋佳男さん  
迎浩一朗さん 村上寿之さん 矢澤貴光さん 渡邊達也さん

【誕生記念月】 安達良文さん 荒口 仁さん 宇都木健太さん  
紅林 太さん 清水千春さん 杉浦基紀さん 長井 守さん  
中島孝昌さん 松浦孝治さん 三田村秀雄さん 矢澤貴光さん  
矢澤俊一さん 山川 潔さん 渡辺博昭さん

【結婚記念月】 岡部直士さん 馬場欽次さん

【夫人記念月】 清水淳一さんご夫人規子様  
鈴木榮一さんご夫人妹恵子様 田中宏明さんご夫人輝子様  
中村久夫さんご夫人恭子様 松浦孝治さんご夫人智子様  
矢島 茂さんご夫人由利子様

## 【ニコニコ発表】 親睦委員会 矢澤貴光副委員長

●尾内昭夫会長 東京東村山RC パスト会長 野澤秀夫様、幹事北久保隆一様、ようこそお越し下さいました。落語家立川寸志様、本日は楽しいお話しを宜しくお願い申し上げます。

●織原寛一郎幹事 東京東村山RC、野澤様、北久保様、ご来訪ありがとうございます。立川寸志さん、楽しい落語を期待しております。会員の皆様、私の友人、寸志さんの応援をよろしく願いいたします。

●紅林太さん 誕生記念月のお祝いありがとうございます。

●矢澤貴光さん 入会、誕生記念月のお祝いありがとうございます。入会して3年が経ちました。これからも宜しくお願い致します。

●宇都木健太さん 誕生記念月のお祝いありがとうございます。

●小林敬三さん 誕生記念月のお祝いを頂き、ありがとうございます。

●杉浦基紀さん 誕生記念月の祝いを頂戴し、誠にありがとうございます。

●三田村秀雄さん 誕生記念月のお祝いを有難うございます。

●山下隆仁さん 先月は、結婚記念月のお祝いプレゼントありがとうございました。

●渡邊達也さん 入会記念月のお祝い、ありがとうございます。本年も、よろしく願いいたします。

●木村政人さん 立高38期立川寸志様、ようこそいらっしゃいました。立川を代表する落語楽しみにしております。立高42期 木村小百合の弟より。



- 渡辺博昭さん 誕生記念月のお祝いありがとうございました。
- 村上寿之さん 入会記念月のお祝いをありがとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。
- 鈴木榮一さん 妻への誕生記念月のお祝い、ありがとうございました。
- 安達良文さん 入会・誕生記念月のお祝い、有難うございました。大寒の今日は誕生日とトランプさんの大統領就任式です。記憶に残る日になりました。
- 木村真人さん 入会記念月の品ありがとうございます。
- 木村政人さん 新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願ひ致します。昨年のクリスマス家族例会では、家内共々楽しい時間を過ごさせて頂き、有り難うございました。端委員長を始めとする親睦委員会の皆様方に感謝申し上げます。お疲れ様でした。
- 磯部弘志さん 東京東村山RCの皆様のご来訪を祝して。式典楽しみにしております。
- 長井守さん 誕生記念月のお祝いありがとうございます。
- 清水淳一さん かみさんの誕生記念月ありがとうございます。
- 藤堂敦さん 入会記念月のお祝い、ありがとうございます。
- 馬場欽次さん 結婚記念月のお祝いありがとうございます。
- 布施明さん 入会記念月のお祝いを頂きましてありがとうございます。入会した時を思い出します。
- 田中宏明さん 妻の誕生記念月のお祝いを頂き有難うござ居ました。これからも夫婦仲よく過します。
- 山川潔さん 新年あけましておめでとうございます。誕生記念月のお祝いを有難うございます。60代も残り3年となりました。
- 中村久夫さん 家内の誕生記念月のお祝い、有難うございます。
- 松浦孝治さん 家内の誕生記念月のお祝い並びに私の誕生記念月のお祝いを頂きありがとうございます。奇しくも、夫婦で同じ日であることに今では素直に喜ばません。
- 鈴木孝一さん 娘が今年も無事に予選を通過して、来月開催されるスキー競技のインターハイに東京都の代表選手として出場します。
- 鈴木孝一さん こちらも予選を通過して、岡部さんが委員長を務める冬季国体にも東京都の代表選手として2年連続出場します。
- 中島孝昌さん 入会記念月、誕生記念月のお祝いありがとうございます。

本日合計 103,000円 本年度累計 1,854,000円

## 落語家 立川寸志様 「新春 落語」

私、立川寸志は7年程前に亡くなった立川談志の孫弟子にあたります。私は立川生まれの立川育ちです。実家は立川市栄町で、小学校は立川5小、立川2中、高校も地元の立川高校に行くことになり、幹事の織原さんと同期第38期で本年ちょうど50歳になる年です。50歳になると落語家は随分とベテランになり、そろそろ弟子でもとうるかという年代ですが、実はまだ始めて5年半です。キャリアだけいけばまだピチピチの若手ですが、私は高校を出て東京都



立大学へ行き普通に就職をしました。中学、高校の頃から落語が大好きで立川から中央線に乗って新宿や池袋の寄席に通ったりしていましたが、落語のことを忘れて就職した訳です。その中で師匠であります立川談四楼と出会い、焼けぼっくいに火がついて入門したいという気になり、44歳で噺家になりました。社会人をやっていたので、ビジネス上の気の遣い方や接し方など大丈夫と思いきや、噺家の世界というのは全然違いました。ご覧になった方もいらっしゃるかと思いますが、前座という修行中の身の上になる訳ですが、どういったことをしているかということ、寄席に行き前の演者が終わり次の演者が上がる前に出て座布団を返し、名前を書いた紙の札を返す。それで楽屋に帰ってくると次から次へと出演する真打の人達や先輩達の世話をします。あとは重要なのが着替えです。その間に落語の稽古をしたり、踊りの稽古をしたりします。三味線などの音に合わせて太鼓も叩いたりするのですが、これだけ人生経験があるから出来るかなと思っていましたが全然駄目でした。若い人達に比べると手先が駄目なのです。一番驚いたのは社会人だから何でも効率良くやれば良いと思っていましたが全然違いました。どういうことかということ、着物を着せたり、着替えの片づけをしたりしますが、その中で羽織をかける動作があり、これはタイミングが重要で羽織を持って待っていると怒られるのです。人によってタイミングを選ばないといけない。そういうのも学ぶところが前座だと教えられました。同じようなタイミングでしくじったことがあります。それは楽屋で靴を揃えて出しておいたらそれで怒られました。何故かということ早く出しすぎたのです。「そんなに早く靴を出して、俺に早く帰れと言っているのか」と言われました。世間の常識と楽屋の常識というのは違うと思いました。辞めたいとも思いましたが、自分は文化人類学者で、未開の地に調査に入りそこでフィールドワークをしているのが今の俺だと思ひ込み、何とか修行をしていました。噺家と同じような商売で今は絶滅してしまいましたが太鼓持ち、幫間という商売があります。噺家よりもっと大変な商売です。お酒を飲むお客さんが相手なのでなかなか大変です。男芸者といいますからこの太鼓持ちというのも置屋さんに所属をしていて、御茶屋から声が掛かりお客さんに呼ばれて行くわけです。ここから「太鼓腹」の話が始まります。

…あらずじ…

大家(たいけ)の若旦那は金とヒマがありすぎて、考えることがひと味変わっています。

親が鍼医の療治で良くなったと喜んでいたので、自分もやってみようと考えた。今までは自分が楽しむだけだったが、人を助けるなんて最高だと、安易な考えで道具一式を買ってきた。

壁や畳、枕や布団に試したが面白くない。息をしている飼猫に試したが引っかけられて逃げられた。二本足で歩くのに打ちたいと思いついたのが、太鼓持ち(幫間)の一八(いっぱち)。普段から『若旦那のためなら命も要らない』と言っていたので、さっそく茶屋に出向いて女将にお願いした。「一八を呼んで欲しい」。「早く呼んで来てちょうだい、自宅にいるだろうから、いなければ見番か角のアサズメだから」、若い者が言うには「アサズメは麻雀と言うんです」。

一八がやって来て、ヨイショしながら二階の若旦那の部屋に入った。「居るね。スゴイ」、「お前の方がよっぽどスゴイ」、「お前を呼んだのは、折り入って頼みがあるんだ」、「若旦那、水くさいな。貴方は大将、私は家来何でも命令して下さい。『火に飛び込め』と言われたら、飛び込んでカッポレを踊りますよ。『一八首をくれ』と言われれば、スパッと差し上げますよ。ただ、帰りの方向が分からないので送って行って下さい。若旦那のためなら命なんて差し上げます」、「心地良い言葉の響きだな」。

習いごとをしていると告げると、「若旦那は偉い。当てましょう。はなは三味線でしょ。端唄、小唄、清元、新内。驚いたのが日舞、普通の人だったら15年から20年掛かる名取に、三月でなりました。金の力は恐ろしいですね」、「その様な古典的なものではないんだ。その中に今風なものなんだ」、「それって生花では無いでしょうね。イヤですよ、木馬を持ってきてそれに

跨がり、手足を縛って禪を外され、尻の穴に百合の花を挿したでしょ。『草ゲツ流』だなんてダメですよ」、「そんなじゃ無いんだ。部屋の中でやるものだ」、「こないだ風呂敷を持ってきて、魚のお面と手に海藻を持って部屋の中を泳げというので、何するんですかと言ったら、お前のお尻をモリで突く。ヤですよ『海辺の風景』」。

「今回はそんなじゃ無いんだ。ハリだ」、「ハリ?針ですか。芸者衆の三味線に乗って、若い子達がボロぎれ持って…スチャラカチャン・スチャラカチャンと雑巾を縫うんでしょ」、「雑巾作ってボランティアしようと言うんじゃないの。ハリはハリでも身体に刺す鍼のことだ」、「若い子に打つんですか」、「この部屋にいるお前だ。イヤだったらイんだよ。羽織の一枚と一万円札を付けるんだから」、「鍼一本に羽織と一万円ですか。やりますけれど、何処に打ちます?」、「手始めに眼だな」、「眼はイケマセン」、「爪の間」、「それもイケマセン」、「だったら、お腹だな」、「大切なものが詰まっているんですよ。どうしてもだったら、皮つまみの横打ち。縦はイケマセンよ」、「分かったから、腹を出しなさい」、「止めましょうよ。こんなつまらない遊び。…皮つまみの横打ちですよ。斜めはダメです。イタタタ」、「静かにしろ。動くんじゃない。鍼が折れた」、「ええ!どうするんですか」、「私が迎え鍼を打つから。大丈夫、任せなさい」、「迎えて下さいよ。送ってしまったら、シャレにならないですよ。また斜めに打ったでしょ。イタタタイ」、「動くな。動くからまた折れた」、「どうするんですか」、「私はもう帰る」。

「どうしたの、若旦那血相変えて飛び出していったわよ。あら、どうしたの真っ赤になった腹出して」、「若旦那が鍼に凝ったというのでやらせたら、鍼が2本お腹に刺さっているんですよ」、「まあ。素人に鍼なんかやらせて。でも、この界限ではチットは名の知れた、たいこだよ。いくらかにはなったかい」、「いえ。皮が破れて鳴りませんでした」。

## 活動の報告



◀当クラブの「社会を明るくする運動」への協力に対し法務大臣より感謝状をいただきました。1月5日に織原寛一郎幹事と木村真人社会貢献委員長で伝達式に出席しました。

▶1月20日～22日に尾瀬岩鞍スキー場で行われた東京立川RCスキーツアー。



▶事務局/東京都立川市曙町2-34-6 小杉ビル8階  
【TEL】042-525-4046 【FAX】042-529-2666  
【HP】<http://www.tachikawa-rc.org/>  
【E-mail】[ttrc8082@sepia.ocn.ne.jp](mailto:ttrc8082@sepia.ocn.ne.jp)

▶例会場/東京都立川市曙町2-40-15 パレスホテル立川  
TEL: 042-527-1111  
▶例会日/金曜日 12:30点鐘  
会長/尾内昭夫 幹事/織原寛一郎 会報担当者/坂本敏城委員